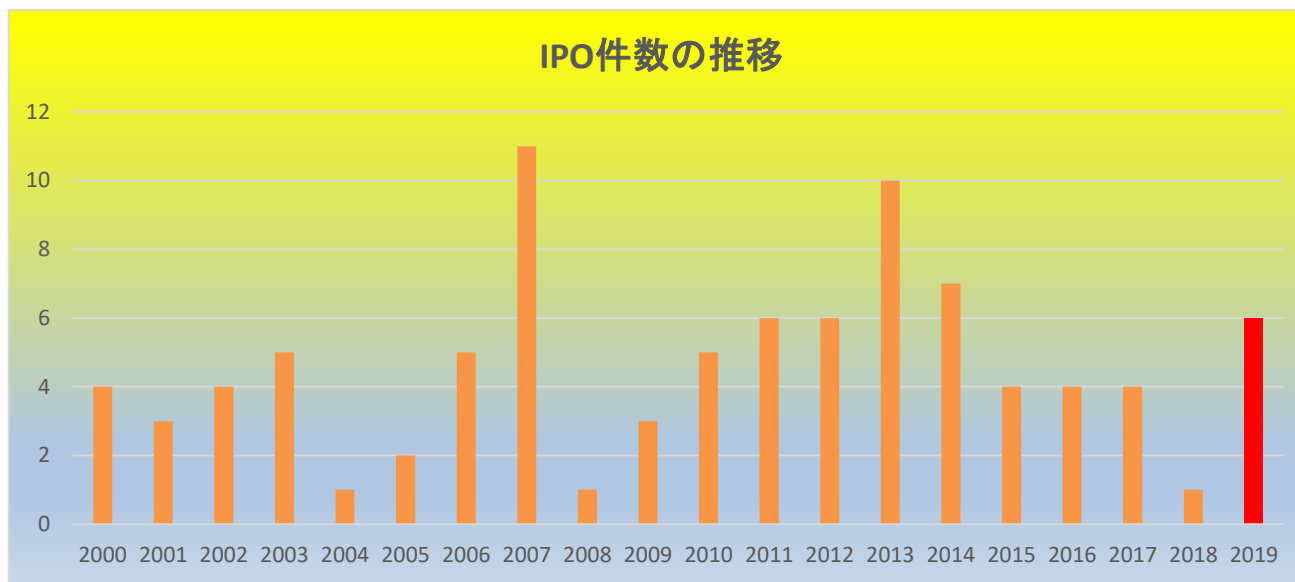


2019年のIPO企業 大搜索

2000年からのIPO件数推移



上記グラフは2000年以降のIPO数の推移だ。過去のIPO数の年間平均は4件程度で多いとは言えないが、今後、市場の規模拡大やIPO市場の整備などから急増する見通し。既存株式の値上がりに加え、IPOでもフィリピンは魅力的なマーケットになりそうだ。

IPO銘柄のその後を追う

投資家の間には“IPO神話”が根強くある。IPO銘柄は確実に儲かるというものだ。だが、それは幻想にすぎない。フィリピンでも、それは同じこと。16年以降のIPOのパフォーマンスを調べたが、現在の株価が上場時の始値を大きく上回っている銘柄がある一方で、始値を未だに抜けない銘柄もある。IPOでも闇雲に申し込むのではなく、時代にあったトレンドな銘柄を選択する眼力が必要になる。

Listing Date	Company Name	Symbol	Sector	現在値	上場始値	高値	安値
2018/6/29	D.M. Wenceslao & Associates, Incorporated	DMW	Property	11.14	11.8	11.92	7.47
2017/8/8	Chelsea Logistics Holdings Corp.	CLC	Services	5.16	11.04	9.77	4.4
2017/6/2	Cebu Landmasters, Inc.	CLI	Property	6.32	5.2	5.98	3.6
2017/5/29	Eagle Cement Corporation	EAGLE	Industrial	9.45	16	16.68	13.82
2017/3/31	Wilcon Depot, Inc.	WLCON	Services	16.14	5.3	15.971	5.17
2016/12/15	Shakey's Pizza Asia Ventures, Inc.	PIZZA	Industrial	23.7	12	17.48	9.8
2016/11/3	Pilipinas Shell Petroleum Corporation	SHLPH	Industrial	45.6	67	80	45.6
2016/7/18	Cemex Holdings Philippines, Inc.	CHP	Industrial	1.9	11.2	12.96	1.61
2016/6/29	Golden Bria Holdings, Inc.	HVN	Services	408	11	540	10.82

2019年のIPOは最大6銘柄か

18年は閑古鳥が鳴いていたPSEのIPOだが、今年は一転して活気づきそうだ。昨年末にPSEが19年の株式発行を通じた資金調達額は2000億ペソに設定。このうち6社程度をIPOで賄いたい意向だ。

冒頭のIPO件数推移でみたように、これまでPSEはIPOが低調だった。これは

- 1) 経済活動の中で財閥系企業グループの影響力が極めて高い、
- 2) IPO発行市場の整備不足、
- 3) IPO銘柄のパフォーマンス悪化……などが考えられるが、2と3に関しては海外からの資金流入で大幅に改善されている。その結果、IPOもスムーズに進む見通しで、IPOに前向きな企業の株式公開意欲を促しているようだ。

関係各方面への取材の結果、19年には最低4銘柄、最大で6銘柄のIPOが見込まれる。

以降では確実性の高い4銘柄の企業概要をまとめた。

National Grid Corporation of the Philippines (NGCP)

【会社概要】NGCPは、国営電力網の運用、保守、開発を担当する民間企業で、電力の供給元から必要な場所まで数ギガワットの電力を伝送する送電システムを担っている。半官半民的な立場で公益事業としての性質を十分に認識し、規制当局の規則および規制、ならびにその送電業務を管理する既存の法律を完全に遵守して、送電サービスプロバイダーとしての使命を果たしている。(By. Norman Salcedo)

類似企業

Company Name	Stock Symbol
Aboitiz Power Corporation	AP
Alsons Consolidated Resources, Inc.	ACR
Basic Energy Corporation	BSC
Energy Development Corporation	EDC
First Gen Corporation	FGEN
First Philippine Holdings Corporation	FPH
Manila Electric Company	MER
Manila Water Company, Inc.	MWC
PHINMA Energy Corporation	PHEN
PetroEnergy Resources Corporation	PERC
Petron Corporation	PCOR
PH Resorts Group Holdings, Inc.	PHR
Phoenix Petroleum Philippines, Inc.	PNX
Pilipinas Shell Petroleum Corporation	SHLPH
SPC Power Corporation	SPC
Vivant Corporation	VVT

Fruitas Holdings, Inc. (FHI)



【会社概要】フィリピンでの健康的な暮らしの流れを見据えて「健康」をコンセプトに事業を展開。2002年2月1日にSMマニラにBabot's Farmをオープンしました。現在、フィリピン全土の主要な商業施設や施設に800以上の収益性の高い店舗を展開しています。設立以来、ブランドのポートフォリオを拡大し、Buko Loco、De Original Jamaican Pattie Shop、Juice Bar、Juice Avenue、Johnn Lemon、Black Pearl、Buko Ni Fruitas、Fruitas Ice Candyなどのブランド商品を販売しています。

【計画】店舗数の増加、買収による拡大、およびフードパークやワインセラーなどの新しいビジネスコンセプトとフォーマットの開発により、業界で名を上げ続けています。積極的な店舗拡大のために、2019年後半までに2億2,000万株の新規上場(IPO)を推進する予定です。最高財務顧問、Calvin F. Chua氏は、IPOによる資金調達は、年間150~200店舗の規模で成長するという同社の計画を支えるものだと語った。(By:Norman Salcedo)

CAL-COMP Technology (Philippines), Inc. (-)

【会社概要】Cal-Comp Technology (Philippines)、Inc.は、2012年6月に設立された台湾を拠点とするKinpo Groupのフィリピン子会社。主に計算機、スマートホームなどのハードディスクドライブおよび家電製品の設計、開発、製造に従事しています。家電製品、および世界有数のブランドのいくつかのためのスマート美容製品。2018年現在、約7,000人の従業員と、リマテクノロジーセンターとファーストフィリピン工業団地にある2つの製造工場があり、スペースは28万平方メートルを超えています。

親会社のKinpo GroupはKinpo Electronics、Inc.、Cal-Comp Electronics (Thailand) Public Company Limited、AcBel Polytech、Inc.、およびXYZprinting、Incを保有し、収益は380億米ドル(2兆ペソ)を超えています。

【計画】CAL-COMP Technology (Philippines)、Inc.は、今年の第3四半期までに新規上場(IPO)を推進し、事業拡大に拍車をかける予定です。台湾を拠点とする技術の現地法人であるNew Kinpo Group (NKG)は、当初2018年の交換を通じて677億ペソを調達することを目標としていたが、不安定な市況のために計画を撤回しました。今年は再挑戦となり Cal-Comp Philippines は、それぞれP17で最大1,990万株の過剰割り当てオプションを使用して、3億7,880万株を売却する予定でした。これは、Cal-Compの発行済株式総数の26.77%に相当します。(Norman Salcedo)

Del Monte Philippines Inc. (DMPI)

【会社概要】Del Monte Philippines, Inc. (DMPI)は、最高品質の健康食品および飲料製品の大手生産者、流通業者、およびマーケティング会社です。フィリピンで90年以上にわたって運営されており、包装されたパイナップル、ミックスフルーツ、缶詰、カートン用の即席ジュース、トマトソース、スパゲッティソースの分野でマーケットリーダーです。

DMPIはフィリピンの加工製品に関するデルモンテ商標の権利を有します。また、よく知られているS&W、Contadina、Todayのブランド名で製品を販売しています。DMPIの売上高の約3分の2は、フィリピンと輸出の収支です。ブキドノンにある25,000ヘクタールのパイナップル農園と、この農園から車で約1時間の距離にある工場で、完全に統合されたパイナップル工場を運営しています。また、Bukidnonに冷凍フルーツ加工施設、LagunaのCabuyaolに飲料用PET工場を運営しています。シンガポール証券取引所およびフィリピン証券取引所に上場しているDel Monte Pacific Limitedが所有しています。

【計画】Camposの家族経営のDel Monte Philippines Inc. (DMPI)は、18年6月27日に予定されている新規上場計画を延期した。計画されたIPOは、175億5,500万ペソに達すると予想されていました。同社の計画によると、同社は1株当たり最大299.88ドルの価格で5億8,743万3千株の第2株式を売却する予定である。オファー後、同社は21%の公募増資を行う予定です。このオファーからの収入は、DMPIに延長された68億ペソのローンを部分的に前払いまたは返済するために使用されます。19年に再度申請する見込みです。(By: Norman Salcedo)